

2010年度 日本建築学会近畿支部設計競技応募要項

課題：

「コンクリートと木のコラボレーションによる持続可能な住まいと地域住環境の設計」

主催：日本建築学会近畿支部，グリーンコンクリート研究センター

後援予定：日本建築家協会，日本建築士会連合会，日本建築士事務所協会連合会，
建築業協会，コンクリート関連 16 団体，他

主旨：

本課題は，これからの住まい，またそれらが集合して形成される地域住環境のあり方を，「コンクリートと木とのコラボレーション」，「地球環境と地域社会の持続可能性」という2つの視角から考えることを企図している。

建築で用いられる主たる構造素材は，コンクリート，鉄，木材である．このうち，日本が資源として自給できるのはコンクリートと木であり，「コンクリートと木とのコラボレーション」の着想はここから導かれている。

コンクリート造建築物は極めて耐久性の高い構造物である．ルネッサンスの巨匠ミケランジェロが「人間の設計によらずして，天使の設計になるもの」と讃えた古代ローマのパンテオンは，紀元 124 年に再建された後，1800 年余もの風雪に耐えて，現在もその偉容を誇っている．20 世紀初頭に建設された鉄筋コンクリート造のアパートの中にも，地域のアイデンティティをかたちづくり，幾世代をもまたがり継承されている優れた建築物がある。

木造の建築物も長寿命である．和辻哲郎らが絶賛した九輪を戴く薬師寺の東塔は，730 年の建立といわれる．維持補修が定期的に行われてきた結果，1200 年余の間，その美しさを保っており，豊かな安らぎの空間が広がっている。

これらの構造物の美しさや長寿命性は，優れた空間構想力のみならず，それらを維持，管理してきた人々の営みと不可分である．環境に配慮した長寿命の住まいは，世代をまたいで人々がそれを愛しみ，手をかけて長く使うことで可能になる．そうした営みに，「地球環境と地域社会の持続可能性」に通じる価値を見出すことができよう。

地球環境問題をめぐっては，すでに様々な分野で循環型社会の構築や低炭素社会の実現をめざす取り組みが始まっている．建築も例外ではない．なかでも毎日の生活の場となる住まいには，環境に配慮したライフスタイルを促す役割が期待されている．環境に配慮した住まいは，地域社会の風土性や歴史・文化とも深く結びついている．家族やコミュニティのあり方が揺らぎ，場所と空間との関係性があらためて問われるなかで，「地球環境と地域社会の持続可能性」に貢献し，次世代に引き継がれる住まい，地域住環境，さらにはその実現の道筋を示す意欲的な提案を期待したい。

審査委員会

応募規程

応募部門として一般部門と学生部門を設けます。

応募規定は、応募資格を除き、両部門共通です。

A.課題 コンクリートと木のコラボレーションによる持続可能な住まいと地域住環境の設計

*コンクリートと木以外の材料の使用を排除するものではありません。

*計画戸数は任意とします。住宅単体の設計提案も可とします。

B.条件 日本国内の实在の場所（計画対象）を設定してください。

C.要求図面

①現状や計画条件を図や写真等を用いてわかるようにしてください。

②設計主旨、配置図、平面図、断面図、立面図、透視図、模型写真等を自由に組み合わせ、わかりやすく表現してください(縮尺明記のこと)。

なお、設計主旨を文章でまとめ、10ポイント以上の文字で図面中に記入してください。ただし、字数は1000字以内とします。

③用紙はA1サイズ2枚(594×841mm、サイズ厳守、変形不可、2枚つなぎ合わせることは不可)とし、裏面に図面番号を付けてください。

D.その他注意事項

①応募作品は、ほかの設計競技等と二重応募になる作品、あるいはすでに発表された作品は応募できません。

②応募作品は、本人の作品でオリジナルな作品であることを要求します。

E.応募資格 特に指定しません。ただし、学生部門で応募する場合は、大学、短期大学、大学院、高等専門学校、専門学校等に在籍している学生、大学院生が対象となります。

F.提出方法

①所定の応募申込書(コピー可)・主旨概要文用紙(800字程度、A4サイズ)を入れた封筒と図面を一括して提出してください。主旨概要文は、記録集に掲載する場合があります。審査の対象とはなりません。

なお、受領通知が必要な方は、受領通知返信用ハガキ(官製ハガキに代表者の住所・氏名記入のこと)を同封してください。

②応募作品は1案ごとに別々に提出してください。

③締切期日:2010年11月26日(金)必着(17:00まで)

④提出先:日本建築学会近畿支部

〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目8-4 大阪科学技術センター内

TEL 06-6443-0538

G.審査方法 審査は2段階で行います。

(1)1次審査(非公開)2010年12月予定。入選作品を選定します。

(2)2次審査(公開)2011年1月予定。関西で公開審査会を実施します^(*)。候補者による10分程度のプレゼンテーションの後に各賞を決定します。

(*)詳細は後日、候補者に通知します。

H.審査員（順不同）

森本政之(審査員長，日本建築学会近畿支部長)
遠藤秀平(神戸大学教授)，岸和郎(京都大学教授)，
宮本佳明(大阪市立大学教授)，檜谷美恵子(京都府立大学教授)，
木多道宏(大阪大学准教授)，向井洋一(奈良女子大学准教授)，
森山正和(摂南大学教授)，中村成春(大阪工業大学准教授)
安枝英俊(京都大学助教)，久貝博司(グリーンコンクリート研究センター理事)

I.賞

- 最優秀賞・優秀賞：部門（一般、学生）別に，最優秀賞 1 点と優秀賞 3 点以内を選定します。（賞金 計 100 万円、別に二村賞として賞金 計 50 万円）
- テーマ別賞：部門（一般、学生）別に，技術賞，環境賞，地域住環境賞を各 2 点以内で選定します。（賞金 計 60 万円）
- 佳作：部門（一般、学生）別に数点選定します。

※二村賞：コンクリート材料の研究において著名であった，故二村誠二氏(元大阪工業大学- 2010年2月11日逝去-)が本企画の必要性を関係団体に強く提唱され，実施することになりました。
グリーンコンクリート研究センターおよびコンクリート関係16団体では，二村氏の功績を長く讃えるために，「最優秀賞」「優秀賞」の受賞者にはそれぞれの賞とは別に「二村賞」(賞金合計50万円)を授与します。

J.その他

- ・課題に関する質疑は受け付けません。
- ・応募函および関連書類は返却しません。
- ・応募作品の著作権，特許権は応募者に帰属しますが，本会ホームページへの掲載や本会の出版物に使用する場合は，無償でその使用を認めることとします。

2010年度 日本建築学会近畿支部、グリーンコンクリート研究センター 設計競技
 「コンクリートと木のコラボレーションによる持続可能な
 住まいと地域住環境の設計」応募申込書

整理番号	
------	--

作品タイトル			
設定場所 (丁目の住所まで記載)			
応募区分 (○で囲む)	一般部門 ・ 学生部門	所属団体名 入会している建築関係団体が あれば記入してください	

応募者氏名・フリガナ 連絡先 (自宅)		所属 (勤務先、部課/学校、学年) 連絡先 (所属)	
代 表 者	フリガナ /	所属 (勤務先、部課/学校、学年)	
	氏 名 /		
	自 宅	〒	所 属
共 同 制 作 者	フリガナ /	所属 (勤務先、部課/学校、学年)	
	氏 名 /		
	自 宅	〒	所 属
共 同 制 作 者	フリガナ /	所属 (勤務先、部課/学校、学年)	
	氏 名 /		
	自 宅	〒	所 属
共 同 制 作 者	フリガナ /	所属 (勤務先、部課/学校、学年)	
	氏 名 /		
	自 宅	〒	所 属

注) 太線の枠内をご記入ください。